

日本生体医工学会 平成24年度 第5回理事会 議事録

日時：平成25年1月18日 14:00～17:00

会場：AP 東京八重洲通り 12階 Cルーム

出席者

理事長	副理事長	理事																監事		幹事		オブザーバー	支部長										
千田 彰一	佐久間 一郎	佐藤 正明	石原 謙	伊関 洋	大城 理	木村 裕一	楠岡 英雄	篠原 一彦	嶋津 秀昭	杉町 勝	田村 俊世	野村 泰伸	牧川 方昭	松田 哲也	山森 伸二	山家 智之	吉田 正樹	堀 正一	山口 隆美	西條 芳文	南部 雅幸	砂川 賢二	木村 主幸	山口 昌樹	牧野 秀夫	福井 康裕	岩田 彰	村瀬 一之	梶谷 文彦	村山 伸樹			
○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

配付資料

- 24-5-2 平成24年度第4回理事会議事録
- 24-5-3-① 平成24年度第5回理事会入退会審査対象者
- 24-5-3-② 長期会費未納者リスト
- 24-5-4 平成24年度各賞応募状況
- 24-5-5 平成25・26年度代議員選挙での会費未納者の取扱い
- 24-5-6 生体医工学シンポジウム2012 開催報告
- 24-5-7-① 2013年日本生体医工学会編集委員会
- 24-5-7-② 編集委員会課題整理と意見聴取
- 24-5-8 生体医工学科連絡委員会
- 24-5-9 名誉会員推薦の件
- 24-5-10 EMBC2013-52thJSMBEの今後の準備
- 24-5-13-② 九州支部からの要望書
- 24-5-13-③ 他団体との共催・後援・協賛状況

1. 理事会成立を確認（大城理事）
2. 前回議事録を確認（大城理事）資料24-5-2
承認された。
3. 25年・26年度代議員選挙の結果について（木村理事）
資料24-5-5
代議員候補者のうち、22000円以上の会費未納者について

会費の納入を促したところ、5名が完納、4名が連絡なし。

よってこの4名を候補者から削除した。

同様に補欠候補者のうち2名が未納であったが連絡なし。

よってこの2名を削除した。

改めて170名の候補者と6名の補欠候補者を選出

候補者通り代議員を承認

4. 入退会状況及び会費未納者について（千田会長）

- ・長期未納の会員が多い（657名）。さらにそのうちの223名は住所不明。
- ・大会に演題を登録するためには少なくとも1名は会員であるほうが望ましいが、昨年度の演題ですべての著者が非会員のケースがあった。（杉町理事）
- ・ジャーナルも特に規定はない。
- ・大会は、会費に差がついているので、会員へ誘導できるのではないか。
- ・準会員は、卒業後の進路が企業になると継続しないことが多い。
- ・正会員で住所不明の会員、準会員は抹消（除名）の方向で考える。
（除名取り消しの希望がある場合は、滞納会費を納付しなければならない）。
- ・高額の未納者については、分割納付を認めてはどうか。
- ・例えば3万円を限度とする。
- ・督促すると退会につながる可能性がある。
- ・除名のためには社員（代議員）の3分の2の議決および弁明の機会を与えなければならない。会費未納の場合は会員資格を喪失しているので、弁明の対象ではないという解釈も可能である。
- ・正会員で住所不明の会員、準会員は退会とする。
- ・一旦意思確認を行う。HPに会員番号を記載してただし、理事からの連絡が可能な会員については復活の努力をする。
- ・退会の際には2年分の会費を納入することとする。以後同様に2年以上の滞納をした会員には同様の処置を行う。

5. 選奨報告（佐久間理事） 資料24-5-4

論文賞3件、研究奨励賞20件、新技術開発賞2件、荻野賞3件。

論文賞と新技術開発賞の推薦・応募締め切りを1月末日に延期した。

（役員・代議員にe-mailにて依頼）

応募が減少している感があるが、対処するべきか？

論文査読の際に推薦するような仕組みを設置する。

荻野賞は応募を増やす努力をする。

新技術開発賞は発表してもらおう。

公募してはどうか。ただし、規約修正の必要がある。
選奨委員会で議論する。
賞の対外的な評価を考えると母数が問題になるので、
母数を増やす努力を行うべきではないか。

6. 生体医工学シンポジウム2012開催報告（大城理事） 資料24-5-6

平成24年9月7日，8日，大阪大学基礎工学部
組織委員長 大城理事
演題数209題，参加者423名
ベストリサーチアワード5件，ベストレビューワーアワード3件，
特別功労賞1件を贈呈した。

7. 編集委員会報告（牧川理事）資料24-5-7-①，

本年度 通常投稿 受付数 32編 採択率75%
シンポジウム 受け付け数 生体医工学 70編， ABE23編
ABE 関連報告（木村理事）資料別添
4論文が掲載済み，14論文が in press
52本の投稿があった。（通常投稿7本，シンポジウム45本）
国際編集委員の委嘱依頼中，日本人編集委員41名
J-Stage への移行について努力中。
電子化に向けて動画，高精細画像等の付録掲載も予定。

（J-Stage の規定に従う）。

1年あたりの掲載論文は30本が見込まれるので，2年以内に
50本の目標を達成できそうである。

ただし，予想より短期間であるので，50本（無料化の範囲）を
緩和していただきたい。次回理事会で正式に提案。

付録の動画などを再利用したい場合は，著作権の取り扱いをどうするか。

資料24-5-7-②

- ・編集委員会のあり方について

IFMBE 誌の編集委員会が有名無実化しているので今年度をもって終了し，
ABE 編集委員会を新設（独立）してはどうか。（承認）

- ・電子査読システムの稼働：4月運用の予定
- ・論文賞推薦項目の追加
- ・MEDTEC 出展の件

ME 実力試験の広報を中心に学会誌の閲覧などを実施する。

ME 試験事務局から担当者を配置できる。

協賛もしくは出展を引き受ける.

- COI の取り扱い 次回理事会
- 副編集委員長の増員 次回編集委員会, 理事会で検討

8. 生体医工学科連絡委員会報告 (吉田理事) 資料 24-5-8

経過活動報告

進学相談会 18 会場 344 名の参加者があった

作文コンテスト

次年度は中止 (参加者が少ないため)

出版物 (ブルーバックス, 中公新書等) を検討

動計画の検討

サイエンスキャンプ・大学実習等を検討

就職先確保・拡充のための活動を検討

来年度予算について

作文コンテストの中止などにより予算を圧縮し, 昨年度 400 万円に対し
度 220 万円を計上する予定である.

9. 名誉会員推薦の件 (大城理事) 資料 24-5-9

千原國宏先生、堀正二先生を名誉会員に推薦する.

推薦人 楠岡理事, 大城理事

10. 第 52 回大会・EMBC2013 準備についての報告 資料 24-5-10

(牧川次期大会長, 田村プログラム委員長)

一般演題の締め切りが 2/4 に延長された

3/24 に採録通知, その後 1 ページの Late Breaking Paper を

受け付ける締め切りは 4/22

7 月 3 日 (初日) 日本生体医工学会総会, NEDO セッションを予定

日本語セッションも可能.

大会プログラム概要について説明

Invited 43

mini symposium/Workshop/Tutorial 22

SS 24+24

一般演題 448 追加の応募を期待する.

登録料について

事前に円建てでの支払いを予定していたが、ドル建てになる可能性がある。

(IEEE 支払いシステムの問題)

為替リスクを避けるため3月24日近くまで遅らせる。

Student Competition について

一般論文を投稿した学生に対し、指導教員が推薦する。

15名程度の受賞者（ただし Student Member のみ、生体医工学会員は会員扱い）を予定

1 1. 第53回大会準備状況についての報告（佐藤副会長）

大会長は東北大学医工学研究科長，松木英敏先生を予定

できれば期日を7月もしくは8月にできないかとの問い合わせ。

1 2. 第54回大会長候補者について（佐藤副会長）

名古屋工業大学 岩田彰教授

1 3. その他（千田会長，大城理事）

・九州支部より3月に支部会を開催したい旨の要望 資料24-5-13-②

12月では発表件数が揃わない，一方，会計処理は1月末という取り決めがあるため3月に支部会を開催することが困難である。

今回は止むを得ない事情を汲んで許可することとする。

協賛等の状況 回覧 資料24-5-13-③

広報委員会からの依頼（野村理事）

旧のHPを閉鎖したい。→ 承認

生体医工学フォーラム（山口監事）

3/18（月）仙台で開催予定